

「(仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回)」を開催します
～中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するための「意見交換の場」～

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォークアブルなまちづくりを推進しています。

このたび、千葉都心の「まちなかの顔」である中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討する「(仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回)」を開催しますので、お知らせします。

また、開催当日から、千葉大学都市デザインスタジオ2024の協力の下、展示会「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」も開催されますので、併せてお知らせします。

1 「(仮称) 中プロ・デザインラボ (第1回)」の概要

(仮称) 中プロ・デザインラボとは、市民、事業者、大学、行政などが、多様な視点や価値観をもとに、中央公園プロムナードおよびその周辺の課題やテーマについて、意見交換をし、将来像を検討するための「意見交換の場」です。

(1) 日時

令和7年2月21日(金) 13:30～16:00(予定)

(2) 場所

市役所1階 市民ヴォイド(イベントスペース)

(3) 内容

- ・千葉駅周辺の活性化グランドデザインの説明
- ・まちづくりシンポジウムの開催結果の共有
- ・千葉大学都市デザインスタジオ2024から「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」の提案

(4) (仮称) 中プロ・デザインラボメンバー

千葉市
千葉市中心市街地まちづくり協議会
千葉大学 松浦研究室 ほか

(5) 傍聴等

参加無料。事前申し込み不要で、どなたでも傍聴等できます。

2 展示会「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」の概要

(1) 内容

千葉大学都市デザインスタジオ2024から提案いただいた「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」について、模型およびパネルを展示します。

本市の中央公園プロムナードおよび周辺敷地を対象とし、30年後を目途として、通りと一体となったアーバンストリートの将来像を構想した建築の建て方のルール、オープンスペースの取り方やネットワーク、道路空間の再配分、千葉駅や中央公園等の周辺市街地との関係を考慮した提案となっています。

(2) 展示期間

令和7年2月21日（金）～令和7年3月7日（金） 各日8：30～17：30

※土日・祝休日を除く

(3) 会場

市役所1階 市民ヴォイド（イベントスペース）

(4) 主催

千葉大学 松浦研究室

千葉市

<参考>

1 千葉市中心市街地まちづくり協議会について

中心市街地内の商店街、庁内会・自治会、企業、千葉県、千葉市、商工会議所などの会員で組織される、千葉市中心市街地の活性化を図ることを目的とした組織。

2 千葉大学松浦研究室について

千葉大学大学院工学研究院建築学コース松浦健治郎准教授率いる研究室。地方都市における地域資源を活用したまちづくり・都市デザイン・建築設計に関わる実践・研究活動を進めている。

3 千葉大学都市デザインスタジオ2024

千葉大学工学部総合工学科建築学コース・千葉大学大学院融合理工学府建築学コースの合同授業。都市計画分野、都市設計分野に関するテーマを設定し、調査・実測・解析、計画・設計を行うもの。2024年度後期は中央公園プロムナード周辺をテーマにした。